



桔梗

第74号

平成28年7月20日

千葉県立松尾高等学校
PTA広報委員会
TEL 0479(86)4311
FAX 0479(86)5037

(題字)原澤 茂夫

新学期の挨拶

PTA会長 越川 浩之



本年度PTA会長を務めさせていただきます。PTA活動にご協力をお願いします。また、後援会の皆様方におかれましては、なみなみならぬご指導ご鞭撻頂き誠にありがとうございます。いつも驚かされるばかりです。昨年度より五年間、SGHの認定を受けて活動が始まったわけですが、SGHに応募した理由が、地域の人口減少が進む中、地域の活性化に貢献できる人材育成をするためと聞き、とても共感致しました。私も地元企業を営んでいる一人として、地元のいろいろな活動及びボランティアを行っている一人

でございます。松尾高校の生徒が、今後SGHのいろいろな勉強及び体験を行って、地域から最終的には世界的な視野に立ち、課題解決に寄与できるグローバルな人材が発掘されるのを楽しみにしております。その為には地域一丸となり応援協力をしていかななくてはならないと思っております。

来年の三月十八日には、のぎくプラザで本校のSGHの取り組みを紹介し、代表生徒による課題研究の成果発表が行われます。全国のSGH指定校が参観する予定でございます。そこで優秀な発表ができるように生徒の皆さんはいろいろな経験及び体験をしてください。

最後になりましたが、初めての試みで先生方も大変かとは思いますが、生徒のご指導宜しくお願い致します。

これづれなるままに

校長 木内 和夫



PTAの皆様には、日ごろから本校の教育活動を対し、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成二十八年度の幕開けにあたり、日頃から考えていることを、つれづれなるままにお話をさせていただきます。

(1) 新社会人に望みたいこと
朝日新聞デジタルのウェブサイ

トで三月上旬、会員登録者を対象にアンケートを実施、一七〇一人が回答しました。少子高齢化社会を生き抜いていく生徒諸君にとっても参考となる内容なので、一緒に考え、そして生きる上での参考にして欲しいと思います。

(ランキング ベスト10)

- 1 挨拶をする。
- 2 遅刻をしない。
- 3 正しい日本語を話す。
- 4 人の話をよく聞く。
- 5 敬語を正しく使う。
- 6 清潔な身だしなみ。
- 7 何事も嫌がらずに取り組む。
- 8 報告・相談を欠かさない。
- 9 最後まで責任を持つ。
- 10 新聞を読む。

これらの項目は一見、当たり前のことですが、新社会人に限らず、大人の人でも実際は出来ない場合も多いと思います。

(ランキング ベスト20)

- 11 忍耐力を付ける。
- 12 トラブルを抱え込まない。
- 13 勉強を怠らない。
- 14 調和を心がける。
- 15 自ら考える。
- 16 忠告を素直に聞く。
- 17 失敗を怖がらない。
- 18 正しい文章を書く。
- 19 勝手に判断しない。
- 20 スマホ・携帯をいじり続けけない。

以上のポイントを頭に入れて、将来社会に出た時に、一緒に仕事

をしたと思う人になって欲しいと切に希望いたします。

(2) 言葉の力

寺山修司は、ある本の中で、「言葉は友人に持とう」と書いています。また、「言葉の肩をたたくことはできないし、言葉と握手することもできない。だが、言葉にも言いようのない、旧友のなつかしさがあるものである」とも書いています。

朝日新聞の第一面に「折々のことば」という欄があります。皆さんも一度は目にしたことがあると思います。全国の中学生や高校生に、大切にしている言葉とエピソードを募ったところ、一万六千を超す応募がありました。予想外の若い世代と言葉との「熱い」友情に担当者は驚いたそうです。「暑くもないし、寒くもないし、ちょうどいい気温だから春かなあ」(認知症の祖母の言葉)

「花は咲くときには頑張らない。ゆるめるだけ。」
(担任からの誕生カードの言葉)

「お前、一年前の誕生日の言葉」
(塾の先生の言葉)

日常で出会った何気ない言葉が目立ったそうです。
私は普段から、言葉の持つ不思議な力を信じています。人は言葉によって殺されることもあります。そして、言葉によって勇気づけられ、生かされることもあります。言葉はまた、即効薬のように力をくれることもあります。浸み雨

が泉となって湧くように、時間をかけて心に届く言葉もあります。それは、どこか人との出会いに似ていませんか。
本校を卒業しても、言葉を通じて、諸君の感性を磨いて欲しいと思います。そして言葉の力を

信じ、終生言葉を大切に生きて欲しいと切に願います。是非とも、言葉を友人に持つてみませんか。最後に、保護者の皆様に対しまして、本校の学校経営方針を申し上げます。

本校は、平成二十七年に文部科学省から、五年間のSGHの指定を受けています。将来、世界で活躍するグローバル人材の育成が、本校に与えられたミッションです。グローバルエイジングがメインテーマでありますが、福祉に限らず学校を挙げて、全生徒をグローバル人材に育て上げたいと思います。

本校は企業からも大学等からも大きな期待をされています。卒業と同時に社会で即戦力として活躍できる人材の育成、言うならば松尾高校卒業生ならば「安心」と思っていただけの「松尾高校ブランド」を更に確立していきたいと思

います。
そのためには、言葉を介して、感性・想像力・創造力、そしてコミュニケーション能力・課題発見力・チャレンジ精神を有する人材の育成を、全職員一丸となって進めて参ります。御理解御協力をよろしくお願いたします。

※今年度の取組
全ての生徒に対し、松尾高校で学んだ貴重な経験を、俳句や短歌に表現して、社会に発信することを計画しています。

また、松尾高校ホームページの校長通信「さちかう」では、SGH等の行事、生徒の活躍、授業見学報告、校長のお勧め本等を、出来る限り毎日更新したいと考えています。是非とも、一度はクリックしていただけますことを切にお願いいたします。



学校の様子を語る校長

去る五月二十八日土曜日に本校視聴覚室にて平成二十八年度のPTA・後援会合同総会が開催されました。

参加者六十一名で、昨年度の事業報告・歳入歳出決算報告・今年度の事業計画・歳入歳出予算案が、新議事としてはグローバル推進委員会の設置が承認されました。

引き続き、新PTA本部役員と後援会役員の紹介が行われました。最後に旧総務役員の方に感謝状の授与が行われました。

皆様方の御協力、ありがとうございました。



PTA新本部役員の皆さん



PTA・後援会合同総会が行われました

スーパー・グローバル・ハイスクール事業報告

二年目の活動をむかえました。本年度は一年生で総合的な学習の時間が二単位となり、二年生で選択科目でGAIというSGHの授業が開始されました。

現在の主な活動は、左記のとおりです。

五月

- 一年生 講演「福祉とは何か」
- 職員 研修「SGH事業」
- 一年生 演習「ワークシート」

六月

- 一年生 講演「ライフプラン」
- 二年生 GAIセミナー「海外留学生との交流会」
- 一年生 講演「山武市出前講座」

一年生 講演「世界の中で生きるか」



サマーセミナーの様子①



サマーセミナーの様子②



サマーセミナーの様子③

転入職員紹介

今年も新たに十三人の先生をお迎えしました。

- ①教科
- ②好きな言葉
- ③抱負

山本 容子



- ①国語
- ②一所懸命
- ③先日、同窓会総会のあった日、学校の坂を車で下っていくと、同年代と思われる女性が立ち止まり会釈をしてくださいました。何十年たっても松尾高校の心が守られている素敵な方だと思いました。

齋藤 大資



- ①地歴・公民
- ②矜持
- ③東金市立東金中学校から異動してまいりました。私自身初の高校勤務が松尾高校となり、大変嬉しく思います。松尾高校の生徒は、挨拶や身だしなみを始めたという学校生活が素晴らしいという印象をもっています。

田井中善夫



- ①地歴・公民
- ②會與不會都來是錯 『臨濟錄』
- ③趣味は「授業」

伊藤 弘文



- ①数学
- ②禍福は糾える縄の如し
- ③縁あって松尾高校は三度目の勤務となりました。女子校時代、四年前、そして今年度八街高校から異動してまいりました。どの時代にもその時々生徒達と楽しい時間を過ごして来ましたが、今回も新しい生徒達と接することが楽しみです。

堀江 克浩



- ①地歴・公民
- ②臥薪嘗胆
- ③県立銚子高校から異動してまいりました。自宅が横芝光町なので地元小学校に勤務ができることへの喜びと担任をやる喜びを感じています。生徒諸君の「夢」「進路」の実現の為のお手伝いが少しでもできればと考えています。

古市 孝幸



- ①数学
- ②人事を尽くして天命を待つ
- ③東金商を三月に定年退職をし、四月より松尾高校に再任用(ハーフ)され勤務しています。松尾高校には以前(昭和の末期です)勤めており、感慨深いものがあります。教科・部活動の指導をしっかりと行っていきたいと思います。

また、「向日葵」という言葉を送ります。向日葵は、太陽を追いかけます。太陽の示す光を求めます。何事にも「積極的」にチャレンジし、価値あるものをどこまでも追求していく高校生になって欲しいと願っています。

これから一緒に授業や行事、部活動にも全力で取り組んでいきますよう！
よろしくお願ひします。

つらかった……でも、楽しかった。もう一度、行きたいなあ～♪



春の遠足

5月2日(月)、連休の谷間を利用して、本校生は蓬沼まで遠足に行ってまいりました。各学年の感想文をお読みください。学年が進むにつれて体力も楽しみ方も、そしてイベントを支える他者への想いも成長することが手に取るようです。

つらかった 一年C組 伊藤 美和
初めての高校での遠足は、とても過酷なものでした。ジリジリと体を蝕んでいく暑さ、まるで足に重石を括りつけたかのように重くなる足取り、中学の頃文化祭だった私には、どれもつらく、苦しかったです。ですが、無駄だったとは思っていません。
長い道のりを歩いている間、私達はもう少ししようもなく暇な時間を人との会話で消化しました。このことから、今回の遠足は、社会に出る上で最も大切なコミュニケーション能力を鍛える、とても有意義な機会だったと思います。これからの人生でつらく苦しい時間は幾度となく訪れるでしょう。そんな時、その時間を楽しく有意義な時間に変えることが、どれだけ大切なかを学ばせてくれたとも思っています。
一見無駄と思えるものも、実際には決して無駄なんかにならないのではと、私はこの遠足で考えることができたかと感じました。



遠足での発見 二年D組 田嶋 麻衣
五月 二日に 行われ た徒歩 遠足で 蓬沼海 浜公園 へ行き ました。 当日は 曇りで 気温も あまり 高くな かつたた ため歩き やすい天 候でし た。昨年 も歩いた 道のはず がとて も長く 感じ、半 分を過ぎ たあたり から「まだ 着かない のか」と 嘆いてい ました。 到着する とみんな 各々に 楽しい時 間を過ご しました。 その日は 親子が多 く、小さい 子どもた ちが可愛 かったです。 また、友達 とも有意 義な時間 を持つ ことが出 来ました。

そして、二度目の遠足を通じて一番印象に残ったことは先生方のサポートです。遠足に行く前から準備をしてくださり、当日も交通指導などのサポートをたくさんしてくださいました。周りの人の支えがあり、このような行事などができます。そのことを忘れずに日々生活していきたいと思えました。遠足は来年で最後です。来年も楽しんで安全な遠足をしたいです。

高校生活最後の全校遠足

三年A組 遠藤 美奏

今年で最後の全校遠足。朝から気合いが入りすぎて登校する坂の途中で疲れてしまったことを覚えていいます。
学校に着き、朝のHRでは、坂野先生が何度も私たちに、「みんな写真撮れなくなっちゃうからペースを落とさず歩くんだよー」と言っていました。はりきっている先生方や、体操服を着て日焼け止めなどをし十六キロ歩くための準備万端なみんなを見て、ウキウキしながら出発しました。
私たち三年A組は先頭で出発し、友達と歌を歌ったり話をしたりしながら、あつという間に半分過ぎましたが、どんどん歩くペースが落ちてきて、「年をとったな」と思い知らされました。残りの半分は去年同様坂野先生に助けってもらいながら無事到着でき、クラス全員そろっての写真撮影も、先生に怒られることなくスムーズに終わりました。自由時間になり、みんなでお弁当を食べたり、その後海岸へ行ったりしていると、だんだん足取りも軽くなり、帰り道は「恋バナ(恋愛の話)」をしながら、学校まで帰ることが出来ました。
教室に帰ると疲れたと言いつつも、達成感に満ち溢れたみんなの顔をみていたから、「もう一度歩きたいな〜」って思ってしまうくらい楽しい思い出になりました。



鶴沢 勝

①理科(化学)
②人生は、できることに集中することで、できないことを悔やむことはない。
「ステイブン・ホーキング」
③長生高校を定年退職し、4月より再任用教員として本校に勤務しております。明るく素直な生徒達から元気をもらっているような気がしています。

稗田 昭子

①芸術(美術)
②人間万事塞翁が馬
③桜咲く松尾高校美術室から見ると、林。未だ十分には探索していませんが、様々な木や草が校地のそこかしこに在って四季折々が楽しめます。久しぶりの美術ですが、自由に伸びやかに授業が展開して生徒と共に楽しんで過ごしています。

阿保麻貴子

①芸術(美術)
② To see far is one thing, going there is another.
Constain Brăncuși
③四月から新任として松尾高校に着任いたしました。松尾高校の生徒はとても素直で何でも吸収してくれます。皆がどのように成長し、松尾を巣立って行くのか、今からとても楽しみです。
どうぞ宜しくお願いいたします。

三浦 祥子

①英語
②一生懸命
③八街高等学校から参りました。松尾高校のみなさんの礼儀正しい姿勢に、毎日感心しながら過ごしています。一日でも早く、学校に慣れたいと思います。英語の勉強

強、一緒に頑張りますよ！

藤森 明彦

①英語
②青は藍より出でて藍より青し
③四月より松尾高校に着任いたしました。松尾高校の生徒は制服の着こなし、挨拶など人間力が備わっていて非常に感心しています。私自身も一社会人として生徒とともに成長できるような精進していきたいと思っております。
どうぞよろしくお願致します。



Ian Beck (イアン・ベック)
①英語 (ALT)
③I am Ian Beck, and since April this year, I have been teaching English at Matsuo HS. So far it has been a pleasure getting to know the various teachers, staff, and students, and I am truly looking forward to spending my last few months learning more about all of them, and more about Japanese culture through them.
四月からお世話になっているイアン・ベックです。先生方、事務室の方々、生徒のみなさんと知り合えて、本当にうれしく思っています。残り少なくなりましたが、みなさんともっと仲良くなり、日本の文化などについてもいろいろと教えていただいで、毎日を楽しんで過ごしていきたいと思っております。



齊田 恵子
①事務
②「ありがとう」
③若松高校から異動してきました。
松尾高校の皆さんの礼儀正しい態度に感激しました。
松尾高校の皆さんが毎日、楽しい日々を過ごしていけるよう事務方で応援していきたいと思っております。

部活動報告——ソフトテニス・弓道関東出場！

○運動部

【卓球部】

◆関東大会県予選

女子ダブルス 瀬田・鈴木組
一回戦 松尾③—1袖ヶ浦
二回戦 松尾1—③和洋国府台
ベスト32

◆総合体育大会県予選

男子学校対抗 松尾0—③千葉商大付
女子学校対抗 松尾③—0市立松戸
一回戦 松尾0—③木更津総合
二回戦 松尾0—②敬愛学園
ベスト8

女子ダブルス 瀬田・鈴木組
一回戦 松尾1—③松戸六実
女子シングルス 鈴木日菜子 一回戦

◆ソフトテニス部

◆関東大会県予選

男子団体

一回戦 松尾②—0県立船橋
二回戦 松尾②—1四街道
三回戦 松尾②—1日体大柏
準々決勝 松尾1—②敬愛学園
ベスト8

女子団体

二回戦 松尾②—1四街道
三回戦 松尾0—②千葉黎明
男子個人 大江・滝口ペア

佐瀬・加藤ペア
山口・端 ペア
ベスト64
ベスト64



豊田・小林ペア
堀越・齋藤ペア
井上・穴澤ペア
一回戦
二回戦

◆関東大会(於・白子町)

◆総合体育大会県予選

男子個人 大江・滝口ペア
佐瀬・加藤ペア
山口・端 ペア
豊田・小林ペア
一回戦 松尾②—0多古
二回戦 松尾0—②西武台
三回戦 松尾②—1千葉黎明
四回戦 松尾②—1千葉黎明
準々決勝 松尾1—②木更津総合
ベスト8

◆バレーボール部

◆総合体育大会県予選

◆関東大会地区予選

敗者復活トーナメント
松尾59—62長生
松尾68—44大綱
松尾78—77大多喜
決勝トーナメント

◆総合体育大会地区予選

松尾65—69大多喜
松尾78—45大原
決勝トーナメント
松尾86—71茂原樟陽
代表決定戦
松尾72—73長生

【弓道部】

◆関東大会地区予選

男子団体 16中
女子団体 16中
◆関東大会県予選
男子団体 36射19中
女子団体 36射24中 第5位

◆関東大会(於・宇都宮市)

◆女子団体 24射11中 22位

◆総体県予選

◆男子団体 10中
女子団体 80射47中 第3位

◆ソフトテニス部

◆文化部

◆演劇部

◆吹奏楽部

◆山長夷吹奏楽祭 参加

◆文芸部

◆千葉県高校生文芸大会

◆短歌部門佳作 鈴木 孝啓
三堂 瑠里

◆吹奏楽部

◆山長夷吹奏楽祭 参加

◆文芸部

◆千葉県高校生文芸大会

◆短歌部門佳作 鈴木 孝啓
三堂 瑠里

◆吹奏楽部

◆山長夷吹奏楽祭 参加

◆文芸部

◆千葉県高校生文芸大会



関東大会に出場して

ソフトテニス部 大江 翔斗
五月六日から関東県予選に出場しました。個人戦の一回戦は危ない試合でした。最初は勝っていたのに、だんだんと逆転されていき、緊張やプレッシャーから自分の思い通りのプレーができず、負けそうになりました。

三回戦は関東出場決定戦だったので緊張しましたが勝つことができ、とても嬉しかったです。
関東大会に出場できたのは、自分一人の力ではなく、ペアや先生方、応援してくれた人たちのおかげだと思っています。

当日はあまり天気が優れず雨の中の試合となりました。自分たちの力を十分に発揮できず、悔しい結果に終わってしまいました。しかし、関東大会に出場できたことは自分たちにとって良い経験になったと思います。

総体予選が終わりに引退した今、悔いは一切ありません。最高の三年間でした。顧問の先生方、外部コーチ、一緒に練習してきた仲間たち、お世話になりました。ありがとうございました。

そして、両親に一番感謝しています。支えてくれた本場にありがとうございました。

関東高校弓道大会に参加して

弓道部

六月三日から五日まで栃木県宇都宮市で開催された関東高校弓道大会へ三年生四名が参加しました。この三日間は大変充実したものであり、またこの場に立ちたいと

いう思いを強くしました。

一番 小川 美咲
慣れない場所で弓を引くことは、プレッシャーとストレスで、いつも通り競技できるか不安でした。しかし、チームメイトとのいつも通りの会話で緊張が少しずつ解け、試合の緊張感を楽しむことができました。

二番 石井 佑実
矢が的中した時に起こる歓声が体育館中に響き渡り、気合が益々入りました。関東大会では普段と異なる雰囲気や緊張感があり、その中で自分の力と仲間と信じ合う力がいかに大切か学びました。

三番 安田 誠
関東大会は人の数も声の量もいつもと違い、見慣れない学校ばかりで本当に緊張しました。そんな張り詰めた緊張感の中でもいつも通りの引き方が出来ないといけないと実感しました。

みんなと頑張ることができてよい経験となりました。
四番 山崎 結香
関東大会は、地区予選や県大会と違い、試合前に本会場練習ができました。しかし、体育館内の特設会場だったため、薄暗く矢がどこへ中つているのか見えませんでした。貴重な経験を次へ活かしたいと思います。

編集後記

PTA広報副委員長

小沼 加代
こんにちは。今回の「桔梗」はいかがでしたか。今までは少し違って、新任職員紹介や学校行事の遠足についても掲載しました。皆さんが読みたくなるような広報紙を目指して作成していきたいと思っています。

今回早く原稿を書いてくださった皆様ありがとうございました。